

Ⅱ 農業農村整備事業の概要

1 趣旨

本県の農業農村整備は、農地、農業用排水路などの農業生産基盤や農村生活環境基盤を整備し、適切に維持管理することにより、安定的な食料の生産・供給のみならず、自然環境や県土の保全、美しい農村景観の形成などに貢献してきました。

しかしながら、本県の農業農村は、人口減少の進行に伴う担い手不足や農村集落機能の低下、頻発化・激甚化する自然災害など様々な課題に直面しており、社会情勢の変化につれて、流域治水やSDGsなど新たな課題への対応も求められるようになってきました。

こうした社会情勢の変化に対応するとともに、農業・農村の持続的な発展を支える農業農村整備の推進を目指すため、本県では「青森県農業農村整備中期推進方針～青森新時代「水土里づくり」強化プラン～（期間:2024年度～2028年度）」を策定しました。

本プランでは、次の3つの施策体系を柱に展開し、「農業・農村の持続的な発展を支える農業農村整備」を目指します。

2 施策体系

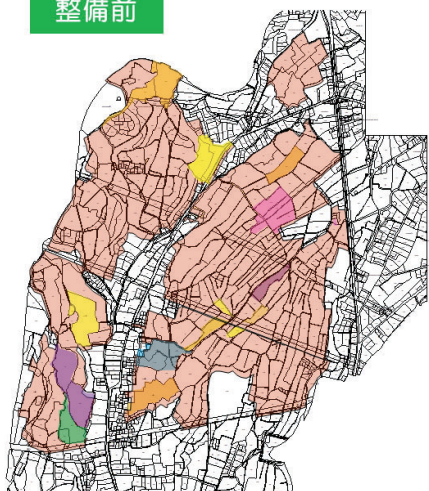
基本方針	「農業・農村の持続的な発展を支える農業農村整備」		
	1 生産力強化 ～担い手の規模拡大と所得向上を支える基盤づくり～	2 防災力強化 ～安全・安心な暮らしを守る農業・農村づくり～	3 地域力強化 ～多様な主体が活躍できる農村づくり～
施策の展開方向と具体的な挑戦内容	（１）担い手の規模拡大と所得向上を支える基盤整備の推進 ex) スマート農業の実相を可能とする基盤整備の推進、基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化の加速化 （２）収益性の高い農業経営を支える基盤整備の推進 ex) 高収益作物などへの転換を推進する水田の汎用化・畑地化 （３）農業農村整備のDXの推進 ex) 農業農村整備プロセス全体でのICTの活用	（４）農業水利施設の長寿命化対策の推進 ex) 農業水利施設の機能の維持・発揮に向けて機能保全計画に基づく適期の更新整備を推進、施設更新に併せて省エネルギー化や対策後の維持管理の効率化を推進 （５）農村地域の防災・減災対策の推進 ex) 防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策の実施、農地や農業水利施設を活用した流域治水の取組推進	（６）農村の地域資源の適切な保全管理の推進 ex) 多面的機能の維持・発揮に向けた地域の共同活動や営農活動を推進、地域の共同活動の継続に向けた持続可能な組織体制づくり （７）土地改良区の運営基盤の強化 ex) 施設管理の主体を担う土地改良区の統合整備や男女共同参画の推進による組織基盤の強化 （８）多様な主体の協働による農村環境の保全・再生の推進 ex) 多様な主体の協働による農村環境の保全・再生の推進 （９）地域の特色を活かした農村の復興 ex) 老朽化した農業集落排水施設の集約・再編や農道の保全対策の推進、農業生産基盤と併せ農村生活環境を総合的に整備

3 具体的な取組事例

1 生産力強化 ～担い手の規模拡大と所得向上を支える基盤づくり～

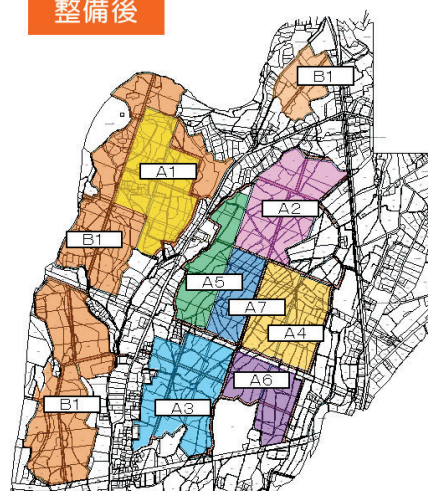
生産性向上や高収益化の基盤づくりとして、自動走行農機などのスマート農業技術の導入に対応した農地の大区画化や、稲作から野菜などの高収益作物への転換を可能とする水田の汎用化・畑地化、RTK-GNSS 基地局の設置などの環境整備を推進するとともに、農地中間管理機構と連携しながら、担い手への農地の集積・集約化を加速します。

整備前



担い手の経営（所有・貸借・作業受託）する農地が分散されており、非効率的な営農を強いられています。

整備後



基盤整備を契機として、担い手の経営する農地が集積・集約化され、効率的な営農が実現されます。

【主な事業】

- 経営体育成基盤整備事業
- 農地中間管理機構関連農地整備事業
- 農地耕作条件改善事業
- など

経営体育成基盤整備事業 大川平地区（今別町）（R2～R8）

本地区の現況水田は 10a～30a 未満の区画で、現況道路は幅員が 2.0m と狭いほか、用排水路の老朽化が著しく水管理や水路の維持管理に多大な労力を費やしています。

このため、本事業により区画整理による大区画化や道水路を整備することで生産性の高い優良農地を確保するとともに、担い手への農地集積の加速化を図ることで本地域の農業競争力の強化を目指します。



農地中間管理機構関連農地整備事業 三本木・滝沢地区（青森市）（R2～R8）

本地区の現況水田は 10a 区画で、現況道路は幅員が 2.0m 未満と狭小であり、水路が用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しています。

このため、本事業により大区画化や汎用化等の基盤整備を実施し、農地中間管理機構と連携しながら、担い手への農地集積・集約化や農業の高収益化を推進します。



経営体育成基盤整備事業 蓬田第一地区（蓬田村）（R5～R10）

本地区の現況水田は 20a 区画で、現況道路は幅員が 2.0m 程度と狭小であり、水路は用排兼用の土水路で維持管理に多大な労力を要しています。

このような現状を改善するために、本事業では大区画化を中心とした農業生産基盤の整備を実施することを目的としています。

また、本事業により分散した農地を担い手に集約することで経営の安定化や就農構造の改善を図ることが期待されています。



2 防災力強化 ～安全・安心な暮らしを守る農業・農村づくり～

農業用水の安定供給や農村地域の豪雨時の排水確保のため、老朽化した農業水利施設について、機能保全計画に基づいた計画的な長寿命化対策を実施します。

防災重点農業用ため池については、決壊時の被害を最小限に抑えるため、防災工事等推進計画に基づいた防災工事を推進すると同時に、ため池サポートセンターの周知や各種研修会の開催などを行い、ハード対策だけでなくソフト対策も充実させていきます。

また、近年の自然災害の激甚化・頻発化を踏まえ、農村の安全・安心な暮らしを支えるため、ダム の 事前放流等 の 洪水調節容量の確保や、水田を活用した田んぼダムの取組などの流域治水の取組を推進します。

【主な事業】

- 基幹水利施設ストックマネジメント事業
- 農業水利施設保全合理化事業
- 農業水路等長寿命化・防災減災事業
- など

「田んぼダム」の取組推進

全国各地で豪雨災害が多発している中で、流域治水の取組として、水田を活用した雨水の一時貯留機能の活用が期待されており、県では「田んぼダム」のPRや普及に取り組んでいます。

東青管内では、ほ場整備実施地区の農業者に対して、営農に影響のない範囲での田んぼダムの取組を呼びかけています。



蓬田第一地区に設置した田んぼダム

基幹水利施設ストックマネジメント事業 後潟川頭首工地区（青森市）（R4～R9）

本施設は、受益面積 403.4ha をかんがいする取水施設です。頭首工のゲート設備は老朽化が著しく、水管理や維持管理に多大な労力を要します。また、大雨時にゲートが動作しない不具合があり、管理に支障を来しています。加えて、コンクリート構造物はひび割れの進行によって脆弱化が懸念されます。



このため、本事業によりゲート設備及びコンクリート構造物を補修することで施設機能の回復を図り、本地域の豊かで競争力ある農業を実現することを目的としています。

ため池等整備事業 西田沢大堤地区（青森市）（R5～R9）

本ため池は受益農地 59.2ha をかんがいする農業用ため池です。令和元年度の地震・豪雨耐性評価では、堤体のレベル1 地震動に対する耐震性は、上流側及び下流側ともに安全率が 1.2 を下回っています。また、設計洪水量に対して既設洪水吐の流下能力では断面不足となります。このことから、本事業で改修を行い、防災機能の向上を図ることとしています。



3 地域力強化 ～多様な主体が活躍できる農村づくり～

農業・農村が持つ多面的機能の発揮に向けて、多面的機能支払交付金により、農業者だけでなく多様な主体で構成された組織が行う地域活動や営農を支援します。

高齢化や人口減少が深刻な中山間地域については、中山間地域等直接支払交付金により、耕作放棄地の発生防止や営農の維持を通じた多面的機能の増進を図ります。

集落排水施設の更新や統廃合、農道の保全対策を推進することで、農村生活を支えるインフラを確保し、暮らしやすく活力ある農村づくりを目指します。

【主な事業】

- 多面的機能支払交付金 ●中山間地域等直接支払交付金
- 中山間地域ふるさと活性化事業 ●農業集落排水事業 など

多面的機能支払交付金（令和6年度実績）

市町村	組織数	交付面積（ha）				交付額（千円）
		田	畑	草地	計	
青森市	27	2,720	74	-	2,794	96,068
今別町	1	119	-	-	119	2,741
外ヶ浜町	6	254	4.1	-	258	9,135
平内町	6	307	3.5	-	311	13,880
蓬田村	8	937	33	-	970	43,780
計	48	4,337	115	-	4,452	165,604



活動の様子（農道の敷砂利）

中山間地域等直接支払交付金（令和6年度実績）

市町村	協定数 （）は個別協定で内数	交付面積（ha）				交付額（千円）
		田	畑	草地	計	
青森市	15（1）	2,128	507	-	2,635	14,848
外ヶ浜町	4	1,731	-	-	1,731	10,962
平内町	1	109	-	-	109	525
蓬田村	4	363	-	-	363	2,988
計	24（1）	4,331	507	-	4,838	29,373



活動の様子（法面の草刈）

中山間地域ふるさと活性化事業 ふるさと水土里ふれあいの旅 2025（青森市）

令和7年6月18日（水）に青森市の奥内土地改良区管内で「ふるさと水土里ふれあいの旅 2025」を開催しました。本イベントは、青森北部土地改良区、青森第二北部土地改良区、奥内土地改良区の3改良区が主催したもので、青森市立北小学校4・5年生の児童24名を対象に、頭首工やため池などの農業水利施設の見学や、その周辺に生息する生き物調査・水質調査、アヒルの模型を用いた用水路の流速調査などを行いました。



用水路でのアヒル競争